

川の水位上昇にご注意ください ～フラッシュ放流で河床をリフレッシュ～

独立行政法人水資源機構木津川ダム総合管理所の管理する高山ダムでは、梅雨や台風^{みずしげんきこうきづがわ}に備えて貯水位を下げており、この貯水位低下の操作を利用して、次のとおりダム下流の河川環境に配慮した放流（フラッシュ放流）を実施します。

なお、今年のフラッシュ放流は、普段は開くことないクレストゲート（堤頂に設置したゲート）6門をすべて用いて実施する予定としています。

平成31年5月8日（水） 10:00～14:00（予定）

今回のフラッシュ放流は、ダムから放流する水を一時的に増やし、石などに付着した泥や藻類等を剥離させるなど河床をリフレッシュすることで、河川に生息する魚などの生物にとって良好な環境へと改善を目指す取り組みです。

ダム下流の河川では、ダムのフラッシュ放流により徐々に水位が上昇しますので、十分注意してください（大河原潜没橋地点及び有市川没橋地点で最大約70cm水位が上昇します）。また、当日はダムからのゲート放流開始に合わせた警報（放送、サイレン）を行うとともに、河川巡視を実施します。

取材にお越しの場合は事前に問い合わせ先まで、また当日の状況写真を希望される場合も問い合わせ先までご連絡ください。



平成31年4月24日

独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所
～高山ダムは平成31年8月で管理開始50周年～

発表記者クラブ

学研都市記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所

高山ダム管理所 所長 星野（ほしの）

住所：京都府相楽郡南山城村大字田山字ツルギ43

電話：0743-94-0201

高山ダムにおけるダム下流河川環境に配慮したフラッシュ放流について

1. 目的

フラッシュ放流は、ダムから流下させる水を一時的に増やすことにより、下流河川内の攪乱を起こし、石などに付着した泥を流すものです。また、藻類等を剥離させ藻類の再生を促します。これらより、河床をリフレッシュさせ、河川に生息する魚などの生物にとって良好な環境への改善を目的とした取り組みを行っています。

○ フラッシュ放流の実績

- ・ 高山ダム 平成14年度～（14回実施）

また、フラッシュ放流に合わせて、下流河川の流れや水質等について調査し、今後のダム下流河川環境に配慮したダム管理を行うための基礎資料を収集します。

2. フラッシュ放流の概要

①現況

高山ダムでは、洪水期が始まる6月16日までに、梅雨や台風に備えて洪水調節容量を確保するため、洪水貯留準備水位まで貯水位を低下させる予定としています。

今回のフラッシュ放流は、この水位低下操作の一環として行います。

②実施予定日

日時：平成31年5月8日（水）10時00分～14時00分（予定）

※最大放流量は2時間程度継続

高山ダムからの最大放流量：毎秒約90立方メートル

放流する合計量：約856,800立方メートル

※フラッシュ放流予定日前後の気象条件等によっては、フラッシュ放流を中止する場合があります。

③クレストゲートからの放流

今回は、計画規模を超える洪水時にしか使用しない堤頂に設置したクレストゲートの健全度の確認を行うため、クレストゲート全6門から放流を行う予定です。



クレストゲート

④期待する効果

フラッシュ放流を実施する前は、石の表面が藻類等に覆われていますが、フラッシュ放流後は、それらが流され、石の表面が明瞭に確認できます。このように河川環境の改善効果を期待しています。



3. ダム下流河川の水位の上昇予測について

今回のフラッシュ放流によって、ダム下流の木津川では、次のとおり水位が上昇することが予想されますので、注意してください。なお、フラッシュ放流時は河川利用者の安全確保のため、河川巡視を行います。河川利用者の方には、河川から出ていただくことをお願いする場合がありますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

- 大河原潜没橋地点及び有市潜没橋地点：最大約70cm 水位上昇
(最大放流量約90m³/s の放流期間 5月8日の午前11時から午後1時頃)

4. 警報等の実施について

フラッシュ放流当日は、ダムからの放流量を徐々に増加させます。安全面に配慮し、放流警報（放送、サイレンを鳴らします。）を行います。